

ショートコメント vol.340 (2024 年 10 月 24 日)

テーマ：エンゲル係数の歴史的な上昇と意外な要因

～係数の上昇は、低所得層よりも高所得層で目立つ～

●エンゲル係数の推移

エンゲル係数（2 人以上の世帯）が歴史的な水準に上昇している（図表 1）。エンゲル係数とは消費全体に占める食費の割合であり、この水準の推移をみることで、家計の実態や余裕の有無などを判断できる。

23 年は 27.8 と 85 年の水準（27.0）を上回った。係数は長期的な低下の後、2007 年頃から上昇傾向に転じ、特に 2020 年以降は高水準での推移となっている。

これは食料品価格の上昇による家計の圧迫を示すものとして、大きな懸念につながっている。特に、その懸念は低所得者で大きいとの推測から、改めて支援の必要性などが指摘されている。

●所得階層別の推移

ただし、所得階層に分けてエンゲル係数の推移をみた場合、上昇傾向が目立つのは低所得者だけではない（図表 2）。

たとえば全世帯を 5 等分した所得五分位階級別にみると、もちろん低所得者（年収五分位①）でも係数は上昇しているが、歴史的な水準という意味では、むしろ高所得者（年収五分位⑤）の方が上昇が目立つ。

さらに、エンゲル係数と食費の関係をみると、もちろん食費自体は増えているものの、歴史的な水準というほど多くはない。23 年の食費は 91～93 年とほぼ同等の水準であるが、23 年のエンゲル係数は 91～93 年を大きく上回っている（図表 3）。つまり、近年のエンゲル係数の上昇は、食料品価格の高騰もさることながら、それ以外の要素も大きいといえよう。

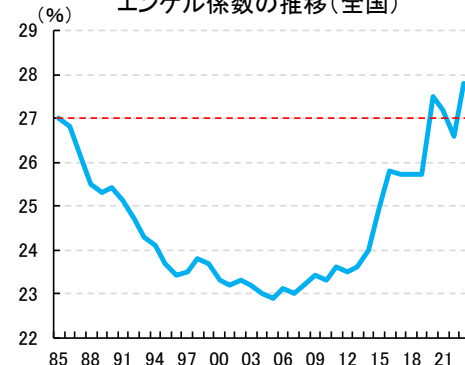
エンゲル係数は、食費を消費全体で除したものであり、その上昇は食費の増加か、消費の減少によってもたらされる。

そこで消費全体と食費の推移をみると、近年は消費の停滞が続いていることが分かる（次ページ・図表 4）。特に 23 年は、食費の増加が消費全体の増加を上回っている。こうした動きが、近年のエンゲル係数の上昇要因の一つに上げられよう。

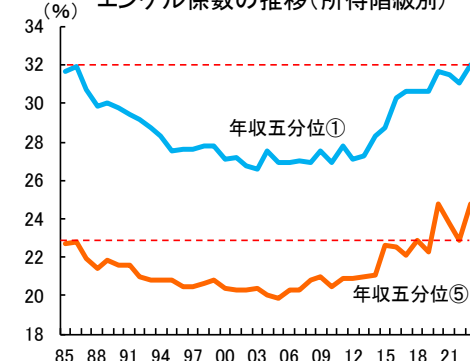
●消費の停滞とエンゲル係数の上昇

ここまでみてきた「消費の停滞」と「食費の増加」という状況からは、家計の厳しい実態により消費が鈍化する一方、食料品価格の上昇には抗えず、食費が増えている様子が浮かび上が

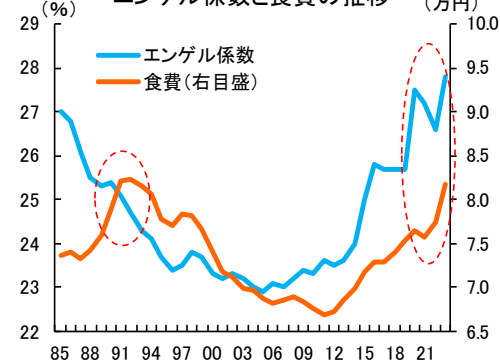
【図表 1】 エンゲル係数の推移（全国）



【図表 2】 エンゲル係数の推移（所得階級別）



【図表 3】 エンゲル係数と食費の推移



※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

る。こうした連想は、低所得者を中心とした苦境を説明するものとして分かりやすいが、高所得者層に当てはめるには、やや違和感がある。

そこで注目されるのは、直近の可処分所得と消費性向の関係である。消費性向とは、可処分所得のうち、消費に回される比率を指す。

●消費性向の低下と消費の減少

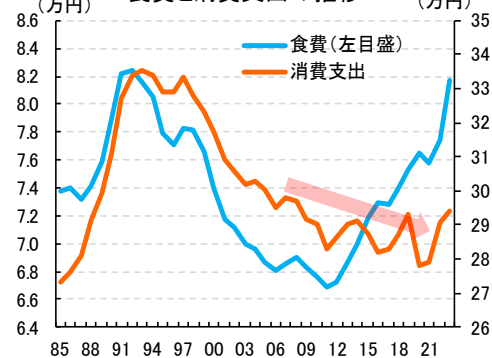
直近の両者の推移をみると、可処分所得が増える一方で、消費性向は低下している（図表 5）。つまり、所得（いわゆる名目所得）は増えているにもかかわらず、家計が消費に回す比率が下がった結果、消費が減少していると考えられよう。

この傾向が高所得者でも強いために、結果としてエンゲル係数の上昇につながったとみられる。

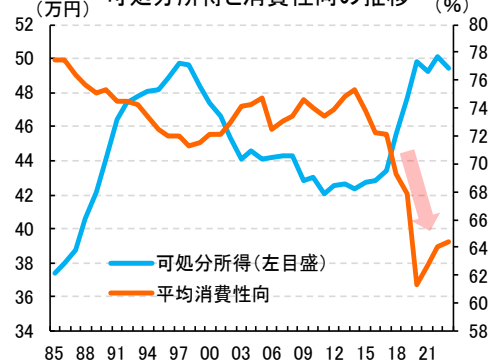
家計の消費性向が下がる要因としては、やはり所得の先行き不安にほかならない。物価の上昇が続く中、それに伴う所得の上昇が見込めないため、手持ちの預金を増やす方向にあると考えられよう。

ここまでみてきた動きから、近年のエンゲル係数の上昇は、食品価格の高騰による食費の増加だけが要因ではない。消費全体の減少による影響も大きく、その要因には、所得不安による消費性向の低下が挙げられる点につき、認識しておきたい。

【図表 4】 食費と消費支出の推移 (万円)



【図表 5】 可処分所得と消費性向の推移 (万円)



本件照会先：大阪本社 荒木秀之
TEL: 06-7668-8805 mail: hd-araki@rri.co.jp

※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。